



今月のマスターピース → BARCO [Cine VERSUM70]

新しいデジタル・デバイスを携えて、名門プロジェクターの帰還。

夏目利明=文 木村利美=写真

ホームシアターにBARCO (バルコ)が選んできた。

'80年代から、このベルギー発の業務用ハイエンド・プロジェクターが設置されていることが、世界のホテルのコンベンション・ホールやカンファレンス・ルームの一流の証だった。もちろん、ホームシアターでもその三管式CRTプロジェクターは名機の誉れを授かってきた。

しかし'90年代末から、プロジェクターの世界にもデジタルの波が押し寄せてくる。液

晶パネルやDLP(微小な鏡による投影デバイス)がCRTに取って代わるのに時間はかからなかった。CRTプロジェクターで名を馳せた名門ブランドの運命はいかに? BARCOは新型デバイスを鮮やかに使いこなしてくれた。

Cine VERSUM70はBARCOがホームシアター向けに開発したDLPプロジェクターの中核機だ。1280×720画素の単板式DMD素子と、ズームレンズを装備。スペックだけを見るなら国産機とそう変

わらない。しかし、造形美とともにホームシアター用として洗練されたインターフェースまで、デザイン全体は秀逸である。本体のスイッチ類はあくまでつましやかに、そして独特のレイアウトのリモコンが実に操作しやすい。

さて、名門と評されたのは、CRT時代に培われたBARCO調ともいえる映像描写のタッチがあったからだ。豊かな色彩と柔らかな質感、そして映像の奥行き。これもなかなか国産機が真似できない。CRT

BARCO Cine VERSUM70
騒音レベル30dBA以下の静音設計も大きな特長。アスペクト比16:9のワイド画面、輝度1000ANSIルーメン、コントラスト比2700:1以上。ズームレンズは短焦点系・長焦点系の2種類から選択可。映像入力端子はコンポーネント、DVI他。サイズW449×H156×D420mm、重量7.9kg。
¥1,554,000(税別) tel.03-5762-8726 <http://www.barco.co.jp/>

で鍛えしその切れ味が、デジタル映像とDLPの組み合わせではどう再現されるのか?

はたしてDVDを見ても、ハイビジョンにしても、独特のBARCO調は健在だった。というよりも、デジタル・ソースをより清潔に高品位に見せてくれる。映画だけではなく、ポルトガルのサッカー場でのボールの軌跡や、ウエールズの古城でのシェクスピア劇まで見たくなる。Cine VERSUMはそういうプロジェクターなのである。●